

市長との約束 2021



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

市民協働推進部長

佐藤 基

約束内容	計画策定を通じ、市民との価値観の共有
達成目標	①第2次大崎市総合計画後期計画を12月までに策定します。 ②第2次おおさき市地方創生総合戦略を12月までに策定します。 ③新過疎地域計画を12月までに策定します。 ④第3次大崎定住自立圏共生ビジョンを令和4年3月までに策定します。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	スケジュール通り各計画を策定することができた。 コロナ禍において、タイミングよく住民説明会を開催することができた。 SDGsなどのトレンドを組み入れた計画にすることができた。 過疎計画では、田尻地域で区長さんを対象に早期に説明会を開催した。
今後の課題解決策	KPIの設定に苦慮した。 目的と目標の違いを担当課と共有し適切な設定ができれば、今以上に市民と目的の共有が進むと考える。

約束内容	市民とはぐくむ、元気な大崎の形成
達成目標	①大崎市誕生15周年記念事業 15周年事業の柔軟な展開を念頭に、市民との一体感の形成を図り、市民に活力が生まれるような事業を行います。 ②学校跡地等の遊休資産の活用策 民間との協力をメインに、地域の思いが達成されるよう努めます。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	①15周年記念事業は、残念な部分もあるが、コロナ禍において、実行委員と協働しながら開催できたと考えている。 ②学校跡地利用に関しては、一部進展したものもあるが、進んだ実感を得るまでには至らなかった。 地域住民の意思を尊重することから、意見集約のスケジュール管理が出来なかった。
今後の課題解決策	学校跡地利用に関して、住民の提案を待つことは大事であるが、市当局もアイデアを持ち、提案をするなど協働の雰囲気づくりも行わないと、結果次第では地域で不満が出る可能性を感じる。

約束内容	市民と行政との架け橋， 区長業務の確立
達成目標	世帯数規模や自治会との連携等， 行政区内の実情を踏まえながら， 行政区割と行政区長業務の検証の下地を年度内に作成します。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	全区長から意見を聞く場を設けることができず， 各地域の区長会の役員との意見交換に留まった。 また， 市役所の各部署が区長に依頼している業務について， 一覧の作成はできたが， 各部署とヒアリングを行い整理することができなかった。
今後の課題 解決策	自治会長と行政区長の役割が地域によって認識が異なる。 令和6年度中の改定内容の確立を目指しているが， ひとつの制度としてまとめるには， 先ず市役所内の理解を深める必要がある。 また， 行政区の統合も並行で行うこととなることから， 説明会を多く開くよう心掛ける必要がある。

約束内容	空家における， 地域資源の活用
達成目標	空家対策については， 各段階におけるメニューは整備されているが， メニュー間の情報共有や連携が不足していることから， 年度内に空家対策事業の連携の強化を図ります。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★★★
達成状況	不動産協会との提携は， 仲介契約の優先権の付与について隔たりがあり， 締結には至らなかった。 空き家バンク登録事業者の理解を得て， 仲介に至らなかった物件のバンク登録について了とされたことから， 紹介登録物件の拡大が図られ， 未利用空家の掘り起こしが進むと考えている。 空き家対策業務の一部について， 政策課から環境保全課に業務を移した。
今後の課題 解決策	空き家データベースのシステム化を行い， 準危険空家に対する指導強化を行うなど危険空家化の防止に努める必要がある。 解体助成の財源を確保するため， 国や県に働きかける必要がある。